

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係  
E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)  
FAX63-5139



今月の表紙は、12月11日(木)に里保育園で行われた『餅つき』の写真です。少人数でアットホームな雰囲気の中、子どもたちは杵を持って一生懸命に餅をついていました。その後、つくたてのお餅をみんなで楽しく食べました。おいしかったです！

## 今月の表紙

## 幸田の民話

### 「小野の小桜」

菱池

10年にもおよぶ応仁の乱によって、京の都が一面の焼け野原となってしまったころのことです。

三浦安房という、相模(神奈川県)の名門三浦一族の侍と小野の小桜の二人が、三ヶ根山のふもと、小野ヶ谷(幡豆町)に住むようになりました。安房は、ふもとの田や畑を耕し、小桜は、里の子どもたちに読み書きを教えていました。3人の男の子も、すくすくと育っていました。

しかし、ある年のこと、風邪がもとで、小桜が病の床につきました。安房の懸命な看病にもかかわらず、病気は重くなる一方でした。夫をまくら元と呼んだ小桜は、

「あなた、ありがとう。私はもう長くは生きられないでしょう。一つだけ気がかりなことがあります。お聞きくださいまし。」

「なんなりと申せ。きっとかなえてやろうぞ。」

小桜は、夫の安房の手をしっかりとにぎりしめながら、

「実は、わたしは、あの百人一首の、わたの原 八十島かけて漕ぎ出でぬと 人にはつげよ あまの釣舟(釣り船の人よ、私は八十島めざして船出をしたと伝えてくれ)」

という歌でも知られている、小野の簗の子孫です。私が死ぬと、小野の家の名前が絶えてしまいます。どうか長男には三浦の家の名をつがせ、次男には、小野の家の名をつがせてくださいまし。」まぶたには、一すじの涙が流れていました。

「よく分かった。必ずそうしよう。」  
「ありがとうございます。どうかよろしくお願いします。」

かすかな声でそう言うと、小桜は静かに息をひきとりました。

その後、安房は、あの美しくやさしかった小桜のおもかげをいただきつつ、小桜との思い出のしみついた小野ヶ谷を離れて、幸田の菱池の地に移り住みました。

今も、三浦の家の名は西尾に、小野の家の名は菱池にと、ずっと続いています。

(「こうたの民話」の要約)



【描画】

中央小5 大野 由莉 さん

## みんなの作品展!



【ポスター】

南部中3 山名 璃香 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

## 今月の記念日

1月19日は

「家庭用消火器点検の日」

一般家庭の手軽な初期消火設備「消火器」の役割を知ってもらい、家庭での点検や、火災発生時の使い方などに関する知識を高めてもらおうと、社団法人全国消防機器販売業協会が制定しました。消防への電話番号が119であることから、その年最初の119の数字が並ぶ1月19日を記念日としました。

万が一火災が発生した時には、分かりやすい場所に消火器が設置されており、慌てずに正しく使用できることが大切です。そのためにも、使用方法をしっかりと覚えておく必要があります。また、消火器には耐用年数があるので、維持管理もしっかり行います。なお、最近、悪質な消火器の訪問点検や高額請求の被害などが発生しているのに注意が必要です。

04年に消防法が改正され、一般の戸建住宅等にも住宅用火災報知機の設置が義務付けられました。新築および10平方メートル以上の住宅の増改築では06年6月1日から、既存の住宅等は市町村条例で定める日から適用されています。

そのほか、「火の周りに燃えやすい物を置かない」「高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所などと協力体制をつくっておく」などの対策が欠かせません。



# 青春トークリレー

△△第190走者△△

おおた しゅうじ  
**太田 秀二** さん

岩堀区在住 22歳 大学生  
身長 165cm A型

**好きなタイプ** おとなしい人、笑顔が素敵な人

**好きな芸能人** ほしのあき

私は幸田町で生まれ、22年間幸田町で育ちました。今は、大学4年生で、今年からは社会人になり新たな一歩を踏み出すこととなります。

最近、同年代の友達や先輩と遊ぶことが多く、昨年の夏にはサーフィンやラフティング、ソフトボールなど様々な経験をする事ができました。

とにかく外で遊ぶことが大好きな私は、幸田町でやって見たいことがあります。それは、これから幸田町を盛り上げていくであろう20代の人たちを集めて、球技大会を開催することです。様々な人との交流で、共に幸田町という街をより一層活気づけられたらと思います。



## はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



子どもたち全員、和太鼓をたたかせてもらいました。年少児と年中児は、バチを1本ずつ持ち、アニメソングのトトロの「さんぽ」の歌に合わせて、自由にたたくのを楽しみました。年

先日、三ヶ根太鼓のかたが保育園に来てくれました。本格的な和太鼓の曲では、その迫力、リズムなどに圧倒され、真剣に聞き入っていました。運動会に踊った『ポニョ』の歌に合わせて、太鼓と子どもの踊りの楽しい共演ができました。

**和太鼓が来たよ!**

わんぱくだより  
「某月某日」  
「深溝保育園」

長児は、少しレベルを上げて、2本のバチを持ち、「ドン、ドン、ドン、ヤー」と4拍目にバチを上げて、ポーズをとるようになりました。それを繰り返すのは、なかなか難しいようでした。ポーズが決まった時



はかっこよかったです。「また、来てね!」とお願っていた子どもたち。本物の音を聞き、実際に触れ、体で感じた楽しさを十分に味わうことができました。とてもよい経験をしました。

▼新年明けましておめでとうございます。また歳をとってしまいました。見た目だけが歳をとって、中身が・・・(泣き) 今年はモーレッツ(古い)に何事も取り組むぞ!(決意だけは・・・)  
昨年4月に新米広報担当として登場し、早9カ月を過ぎてしまいい、ただ月日だけが経ち、デジカメの知識が少し増えただけでセンスは一向に上がらずです。意欲だけはありますが・・・  
冬の果物と言えば「みかん」ですが、先日みかんを2つ食べようとしたとき、4歳の娘が「おとーさん!2つもずるい!」父「だって、おとーさんは体が大きいからね」娘「でも(心臓を指差して)ここは一番ちびっちゃんよね」父「・・・(うっ!スルドイ)」こんな広報担当者ですが、今年もよろしくお願いします。(R)  
▽明けましておめでとございませう。今年も5年。スツシリ、ドツシリ、そして慌てずゆっくり確実に物事を進めたい年です。自分には、安定した年であってほしいものです。幸田にとっては、年末の経済状況の変化によりいろいろなことが心配されるころですが、丑の如くドツシリと一歩ずつ着実に前進してほしいものです。ふるさと幸田百周年の記念駅伝、みんな頑張ってください!! (T)

ちよと  
**編集者の  
ひびく**